

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業名	地域高規格道路 <small>おおす やわたはま</small> 大洲・八幡浜自動車道 一般国道197号 <small>やわたはま</small> 八幡浜道路	事業区分	一般国道	事業主体	愛媛県
起終点	自：愛媛県八幡浜市郷 至：愛媛県八幡浜市大平	延長	3.8km		
事業概要 一般国道197号「八幡浜道路」は、地域高規格道路「大洲・八幡浜自動車道」の一部区間として、高速道路と一体となった広域ネットワークを形成することにより、災害時の広域避難・救援や緊急輸送道路の確保、地域の主要産業である農林水産業の支援、観光地へのアクセス向上、円滑な救急医療搬送に資するほか、八幡浜市の中心市街地を迂回し、市内の慢性的な渋滞の緩和を目的とした延長3.8kmのバイパス事業である。					
H17年度事業化	—	H17年度用地着手	H19年度工事着手		
全体事業費	244億円	事業進捗率	約84%	供用済延長	0km
計画交通量	6,700台/日				
費用対効果分析結果	B/C： <small>(事業全体)</small> 0.5 <small>(残事業)</small> 3.8	総費用： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 39/270億円 事業費：39/269億円 維持管理費：0.43/0.43億円	総便益： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 148/148億円 走行時間短縮便益：126/126億円 走行経費減少便益：17/17億円 交通事故減少便益：4.7/4.7億円	基準年： 令和2年	
感度分析の結果 <small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=0.5~0.6(交通量 ±10%) <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=3.4~4.2(交通量 ±10%) 事業費：B/C=0.5~0.6(事業費 ±10%) 事業費：B/C=3.5~4.2(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=0.5~0.6(事業期間±10%) 事業期間：B/C=3.7~3.9(事業期間±10%)					
事業の効果等 ①大規模災害への備え 第1次緊急輸送道路に指定されている国道197号の道路ネットワークの多重性、耐災性が確保されるとともに、四国縦貫・横断自動車道と一体となった広域避難・救援ルートが構築される。 ②広域物流・観光ルートとなる「新たな国土軸」の機能強化 八幡浜港と高規格道路ネットワークとが直結することで、九州～四国～京阪神を結ぶ広域高速ネットワークが形成され、広域物流・観光ルートの機能が向上する。 ③慢性的な渋滞の緩和 八幡浜市の中心市街地を迂回する本道路の整備により、中心市街地の通過交通が減少し、現道交差点部での慢性的な渋滞が緩和されることで、地域社会の経済活動における生産性、利便性の向上が期待される。 ④広域救急医療活動の支援 第二次救急医療施設（八幡浜市・大洲市）や第三次救急医療施設（松山市、宇和島市）への搬送時間の短縮により、八幡浜・大洲圏域における救命率の向上が期待される。					
関係する地方公共団体等の意見 ・国道197号（大洲・八幡浜・西宇和間）地域高規格道路建設促進期成同盟会による事業促進の強い要望がある。					
事業評価監視委員会の意見 ・令和2年度愛媛県公共事業評価委員会（令和2年9月1日）において審議の結果、「事業継続」との意見が知事に報告された。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成24年3月 四国横断自動車道（宇和島北～西予宇和IC）が開通（暫定2車線） ・平成25年3月 一般国道197号「名坂道路」が開通（暫定2車線） ・平成27年3月 宇和島道路（津島岩松～宇和島北IC）が開通 ・令和2年3月 中山スマートIC（伊予IC～内子五十崎IC間）が開通					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地取得率100%、事業進捗率約84%（令和3年3月末時点）					

